

日刊 動労千葉

86. 11. 20

No. 2411

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五ノ六・（公衆）〇四七二二七・七二〇七

70名が結集に大成功

「俺たちは鉄路に生きる」佐倉地区上映会

十一月七日、「俺たちは鉄路に生きる」佐倉地区上映会が、佐倉市中央公民館において開催された。地区上映会の締めくくりとして、短期間の取り組みの中であったが、佐倉支部組合員、家族、そして、教組、交通労働者七〇名が結集し大成功をおさめた。



注意表明に立つ宮内・佐倉支部長

貨物支部も闘いの先頭に立つ

十八時に上映会は佐倉支部・田中書記長の司会によって始まり、本部を代表して布施書記長が、動労千葉の闘い決意と参加御礼を述べて開会となった。

全参加者はスクリーンに喰い入るようになりついていた。

映画終了後、主催者を代表して宮内支部長が御礼と挨拶にたち、「分割・民営化絶対阻止へ最後まで闘いぬく」との決意表明がおこなわれ、大成功のうち上映会をしめくくった。

組合員公判に不当判決！

直ちに控訴手続

十一月十九日、東京地裁・白石裁判長は組合費公判において、動労千葉「全面敗訴」の不当判決を行った。

これは、国鉄分割・民営化にあくまでも反対して闘う動労千葉の組織破壊の一環としての反動判決である。動労千葉は弁護団と協議し、直ちに控訴することとした。

不当判決粉碎へ向けて、最後まで闘い抜こう。

（細部については別途、本紙で報告します。）

組織破壊のための反動判決を許すな！